

井川町教育委員会 8 月定例会会議録

1. 日 時 平成30年8月27日（月） 午後2時00分～2時50分

2. 場 所 井川町公民館 研修室

3. 出席委員 六郷博志 幡宮明貞 伊藤守 小武海文恵 齋藤正仁

4. 会議に出席した事務局職員 事務局長 伊藤一彦 鷺谷幸平

5. 報告事項

①各種大会等の結果について

②教育委員会、公民館、学校関係行事予定について

③義務教育学校開校記念行事について

6. 協議事項

①敬老作文の選考について

②成人式のこれからについて

③その他

7. 情報交換

8. 会議の経過

教育長 開会あいさつ
(挨拶要旨)

今月は教育委員会事務局の三大会事である、桑名杯野球大会・成人式・全町盆踊り大会が開催された。

学校では先週金曜日に、教育委員会主催で教職員の研修会を実施し、先生方には新しい学校でいいところを伸ばしてほしい、行事も頑張って取り組んでほしいと伝えた。

報道によると、子どもの自殺は8月25日、26日が多く、不登校も格段に増えるとのことで、学校でも十分に配慮してこれから取り組むよう助言しているところである。

この会の後には、総合教育会議があるので、皆様方には長時間になるが、宜しくお願いする。

教育長 今定例会の議事録署名員に幡宮委員、小武海委員を提案。
両委員が議事録署名員に指名された。

事務局長 (卓球部の東北大会、柔道部の東北大会、吹奏楽の秋田県大会について金足農業高等学校の齋藤璃玖君について報告。教育委員会、公民館、学校関係行事について説明)

事務局長 (義務教育学校開校記念行事について説明)

教育長 町民に学校を初年度にぜひ見てもらうという趣旨で計画した。石坂仁さん、ペンネーム青山トゴさんの随筆は、井川町の実家を舞台にしており、子どもたちに身近な内容だ。これを地域教材として取り上げて、五年生以上の二つの学年と一緒に勉強してはどうかと思い、提案した。

委員 二学年合同授業は大変良い。小規模であればあるほど、取り入れて行った方が良い。子どもたちには新しい刺激になるので、特に道德の授業などで取り入れると面白いと思う。

教育長 それでは、成人式のこれからについて協議したい。事務局より説明を求める。

事務局長 (成人式の県内の状況と法改正の主旨について説明)

教育長 今年の井川町の成人式の内容は、町長と教育長が挨拶し、20歳の提言として3人の青年が自分の今の意見を述べ、その後、中学校の恩師が講話を行った。

委員 問題は二つある。一つ目は18歳に引き下げられたときに、何歳の時に成人式を実施するのか、二つ目は成人式の内容をどうするかだ。

委員 実施するとすれば、18歳だろう。高校卒業した年の夏にすると、大学1年生や社会人1年目が実行委員会になるので、なかなか時間は作れず厳しいだろう。

委員 18歳から契約や投票や婚姻など、責任を伴うことができるようになるので、成人としての自覚を持たせるには、18歳がいいだろう。その間に、経過措置ということで、18歳、19歳、20歳が一度に成人式を実施することが出てくるだろう。

委員 夏に実施するとすれば、まだ20歳になってない人もいるはずだ。

教育長 今回の協議は4年後を見据えたものなので、いずれまた意見を求められるだろうが、今後も成人式に関心を持って意見をお願いしたい。次に、全国学力学習状況調査結果の概要について協議をお願いしたい。義務教育学校になったことを契機にして、町民の方々に学校の様子を知ってもらうということで、テストだけが学力ではないということを十分に伝えながら、学習状況や子どもたちの様子を知らせたいと考えている。

委員 学力に関しては、できるだけ簡単にわかるように書いた方が良い。学習状況調査については、特に家庭でも広報を見て話し合いになるかもしれない。このような形で良いと思う。

教育長 インターネットで公開している市町村もあるが、見る層が限られているので、広報が一番見られる媒体だと考える。

委員 私は、学力の公表は積極的に良いとは思わないが、情報提供という

ことで関心を高めるためには良いと思う。学習状況の公表については、賛成しない。絶対だめだというわけではないが、父兄以外の一般町民が調査結果を見て、それではいったいどうするのかと疑問に思うだろう。

委員 調査結果を公表してプラスになることはあるのだろうか。結果よりも学習体制を知らせる方が良いと思う。

委員 学習状況の公表は、学校からの手紙で各家庭に配られるくらいで、他の方に教える必要はないと思う。ここまで細かく掲載せず、大まかな内容だけで良いだろう。

委員 私は掲載した方が良いと思う。学校運営協議会の件もあるが、町民の意識を変えていくという時代になってきていると思う。すぐに効果があるかどうかではなく、学校での状況、学習の成果について知らしめていくのが大切だ。学習状況の公表は、子どもがいない家庭であっても、子どもに興味関心を持たせるという意味では良いと思う。

教育長 2ページではボリュームが多いので1ページにして、内容は整理工夫し一度教育委員に御確認いただいた上で、掲載したいがどうか。

委員 参考資料の町の公表ページは整理されていない。見せ方の工夫が必要だ。

委員 結果を公表して何を知ってもらうのか、町民が学校に対してどのような認識を持ってもらい、どのような協力をしていくのかを想定しなければならない。

委員 教育長が言ったように、原案を出してもらって検討することでどうか。

教育長 このような方向性で進めていく。調整結果を町民にオープンにしていくことは、開かれた学校にしていく一つの手がかかりだ。

最後に、敬老作文の選考について説明を求める。

事務局長 敬老作文の集計結果について説明。

教育長 前期課程2学年の作文は、野菜作りの手伝いをしたいという細かい記述・表現で、祖母と一緒に作る夏休みが楽しみだという内容だ。後期課程8学年の作文は、亡くなった祖父の介護などに関する作文で、祖父の介護をしている祖母に対する激励だった。この結果で異論はないか。

全員 全員了承。

教育長 以上で、協議事項を終了する。

事務局長 (他に無いことを確認して定例会を終了)